



ADL / IADL 機能訓練 ソリューション

人間のカラダの動きを知り尽くした
セノーの「解決策」をご提案します。



セノーはミズノグループの一員です。

明日もできる、 という幸せ。

朝起きて、顔を洗って、家事をして、
食べて、散歩して、笑って、眠る。
自分のちからで、明日も明後日も。
ちゃんと暮らせる幸せを届けたい、
セノーです。

100年生きるカラダをつくろう。 カラダ100年 プロジェクト

人生、100年時代。

100歳まで生きることが普通となる超高齢化時代が始まる中で、
多くの人が高齢に負けず、一生を自分の足で歩き、

自立した日常生活を生涯にわたって送っていきたくて願っています。

セノーの「からだ100年プロジェクト」は、

人間のカラダの動きを知り尽くしたMIZUNO/セノーグループの

スポーツ科学から生み出される独自のメソッドによって、生きるためのカラダを育て、

人々の健康寿命をのばしていくための新しい取り組み。

一人でも多くの人が高齢にわたり自分の足で歩けるカラダへ。

100歳まで、当たり前が当たり前でできるカラダへ。

それを叶えるための解決策を、このプロジェクトから生み出していきます。

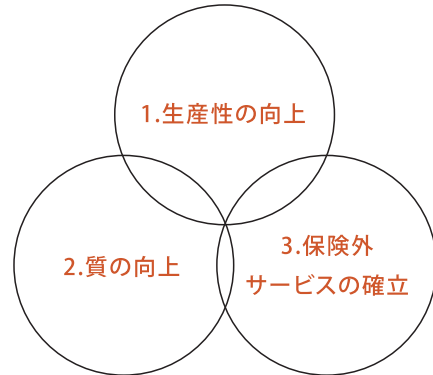


医療介護ビジネスの2040年に向けて

団塊世代が後期高齢者となる2025年に向けて急激な医療介護サービスニーズの増加が予想されています。さらに2040年には団塊Jr世代が高齢者となり、我が国は高齢化のピークを迎えます。また、医療保険制度においては在院日数の短縮や在宅復帰率の強化、介護保険制度に関しては次期改正(2021年)において、現在の要支援者のみならず要介護1、要介護2対象者への地域支援事業の拡大や、ケアプランの有料化などが議論されており、事業環境はますます厳しくなるものと予想されます。

厳しい環境が予想される

医療介護サービス事業者の将来に向けた対策



1.生産性の向上

厚生労働省の推計によると2025年には介護人材が34万人不足すると言われています。また、厚生労働省老健局は2019年3月に「介護サービス事業における生産性向上に資するガイドライン」を作成し、医療介護現場における「生産性向上」を呼びかけました。今後は「職員の増員」で乗り切るという発想を捨て、業務手順の見直しや、最新ツール(ICT化・介護ロボット)の積極的導入などで、より少ない人数(input)でより多くの業務(output)を行う生産性の向上が事業継続のための鍵となります。

2.質の向上

2018年に行われた介護報酬改定では、+0.54%のプラス改定でしたが、処遇改善やその他加算も含めた数値であるため、実質的な基本報酬においては-0.5%のマイナス改定であったと言えます。今後もこのような加算部分での報酬調整が行われる傾向が強くなると予想され、いかに効率的に加算を算定するかが収益確保の課題となります。また、加算の方向性はストラクチャ評価(体制)やプロセス評価(過程)から、アウトカム評価(結果)へのシフトが顕著となっています。今後、2021年本格稼働予定の医療介護のビックデータをもとに、データをベースにした「結果を出せる」医療介護サービス提供が必須となります。そのために日々のサービスのデータ化を行えるシステムの導入、サービスレベルの把握と改善向上に向けたプラン策定が重要となります。

3.保険外サービスの確立

縮小する事業報酬や人件費の増加により社会保障費を収益源とした事業の経営環境はますます厳しくなることが予想されます。その中で医療介護保険のみに頼らない事業形態にシフトすることは、リスクヘッジとして取り組むべき課題です。市場においては自費リハビリ(90日間約30万円)や高齢者向けの集団体操メニューを充実させた自費のフィットネススクールが人気を集めつつあります。いずれも既存の医療介護事業のノウハウをベースに、制度の変化により新たに生まれたニーズの受け皿としてのサービスや潜在的ニーズを掘り起こすことにより成功を収めています。

上記課題解決の為の幾つかのソリューションを提案します



セノーはミズノグループの一員です。

NuStep ニューステップ

- リハビリ先進国アメリカや日本国内で **ユーザーから圧倒的**支持。
- 安全な姿勢で全身を使った心肺持久力のトレーニングを可能にし、
現場スタッフの負担軽減につながる。



米国高齢者財団より、
97年度に最優秀リハ・トレーニングとして
The 1997 Raymond A.
Cizek Service Awardを
受賞しています。



四肢が連動して動くため
運動量が多く、
全身のリハビリが
1台で可能です。
(運動負荷5W～)

背もたれ、肘掛や
回転式シートにより
障害の軽度から
重度な方まで無理なく
使用できます。

コードレスのため
コンパクトで設置場所を
選ばず、リハビリ室だけで
なく病棟などでもお使い
いただけます。



セノーはミズノグループの一員です。

事例 1



転倒などのリスクが少ないので、利用者様にとってはもちろん、管理者としても安心して利用いただける。

大西メディカルクリニック 理学療法士/センター長: 石原 和明 様

導入してよかった点は？

とても人気が高く5台導入していますが、いつも順番待ちになっています。持久力を向上させたい方に特に人気で、バイクは一人で乗りにくいですが、ニューステップは乗り降りが容易で、気軽に乗れるので、膝が痛い方にはニューステップを案内しています。バイクは脚だけですが、ニューステップは手も連動しているので、全身の持久力UPという意味でも適しています。



事例 2

セルフトレーニングが可能なマシンのため、疾患を選ばず、若い方から高齢の方まで全世代の方に利用していただいています。

一般社団法人 巨樹の会 五反田リハビリテーション病院
副院長(理学療法士): 田中 重成 様
リハビリテーション科主任(理学療法士): 波多野 崇 様

導入の経緯は？

ニューステップは背もたれや肘掛けがあるので、障害が軽度な方から重度な方まで、利用者を選ばず安全に使用していただけるという点が魅力的でした。また、片側が屈曲すると反対側が伸展するという動きはリハビリ効果が高く、体幹の強化も行えます。四肢が連動して動くことで運動量も多く全身のリハビリが1台ででき、しかも理学療法士に頼らずセルフトレーニングが行えることも導入を決めた要素です。

おすすめのトレーニングプログラムは？

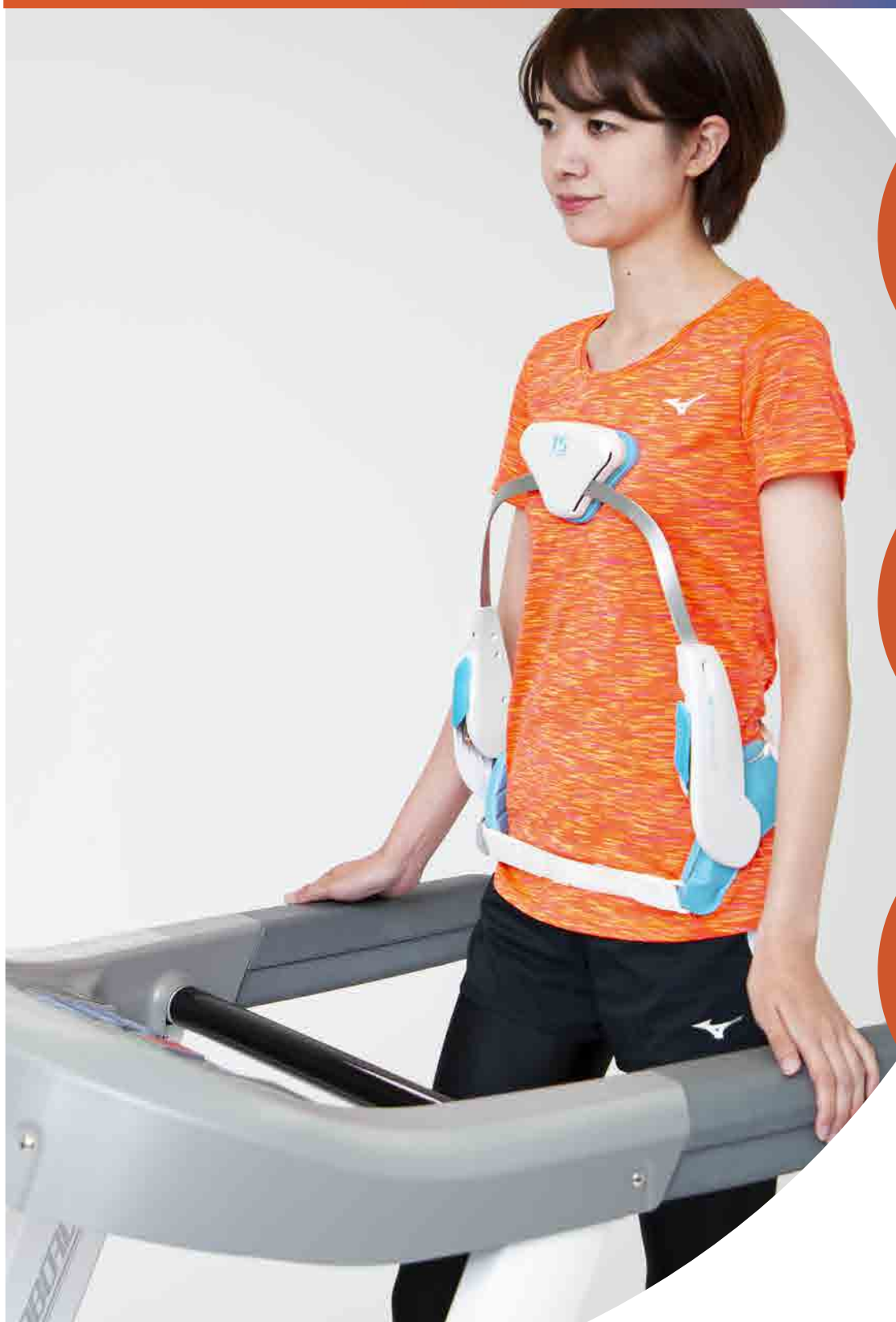
3~5の負荷で15~20分使用していただいています。低負荷でなるべく長時間ご使用いただくことで、狭くなっていく可動域を広げることができます。

導入してよかった点は？

一般社団法人巨樹の会では、ニューステップはリハビリの定番機器として多くの病院で採用しています。多くの患者様に、多目的に継続した運動処方を組めるので導入してよかったと思っています。

TRUNK SOLUTION トランクソリューション

- リハビリ専門スタッフの負担軽減。
- 装着して歩くだけで体幹が鍛えられ、自立歩行を育成する。



専門家がいなくても
わずか1~2分程度で
簡単&スピーディに
装着できます。

腰への負担を軽減して
体幹を強化し、
歩行に必要な下肢を
鍛えることができます。

シンプルな構造で
軽量(約1.2kg)
であるため高齢者でも
無理なく使用できます。



セノーはミズノグループの一員です。

事例 1



患者さんの喜びの声が大きい。
それが私たちとしてもうれしいことです。

医療法人社団 輝生会 初台リハビリテーション病院
教育研修部 PT 部門チーフ / 理学療法士 回復期セラピストマネージャー
認定理学療法士 (脳卒中) 野口 隆太郎 様

導入の経緯は？

当院には脳卒中で倒れた後にリハビリに来られる患者さんが多く、ご自身で運動を行うことが難しい方の中にはおられます。リハビリの過程で、重度の患者さんは最初は長下肢装具を使い、次第に短下肢装具へと切り替えるわけですが、重度ともなると切り替えの段階でなかなか股関節や体幹を自らの意志に基づいて動かすことが難しいという患者さんが多いです。そうした長下肢装具から短下肢装具への移行期、まだ股関節の動きが伴わない方のリハビリに、トランクソリューションはぴったりだと思いました。

PTにとって、3本目、4本目の手が増えたことを実感

リハビリテーションを行う際、まずは背筋の伸びた姿勢を身につけていただきます。その際我々は、患者さんが姿勢を維持できるように補助するわけですが、トランクソリューションを装着してもらうことで、背筋の伸びた姿勢を自然に保持できるので、我々は股関節や体幹の動きのアシストをすることができます。姿勢を保ちながら自力で歩けるというのは患者さんにとって大きく、その喜びの声は私たちとしてもうれしいものです。骨盤を前傾に保つというのは、すべての患者さんにとって必要です。そのためのリハビリの時期を判断する必要がある PT にとっては、リハビリのための道具の選択肢が増えたという実感があります。

事例 2



歩行時に上肢・体幹が安定すると下肢の動きを妨げないので、トランクソリューションは歩行能力の向上に役立っています。

社会福祉法人 真寿会リハビリセンターあゆみ
訪問リハビリ担当 富田 恭輔 様

導入してよかった点は？

体幹サポートはトランクソリューションに任せて、歩行観察をしやすくなり、細かい点のサポートをできるようになりました。

どういった使い方をしていきますか？

体幹がふらつくため立位保持がうまくできない、動作に制限があるといった方に対して導入し、体幹前屈を防ぐために使用しています。また、歩行器からの独歩を目指している方に対しても使用しており、歩行能力のアップに繋げています。

使用の効果は？

体幹前屈歩行の振り出しが上手くいっていない方に対し使用したところ、体幹が起きて、立位保持がほぼ直立になり、下肢の振り出しが改善され、歩行スピードも早くなりました。

事例 3



自分自身でトランクソリューションを装着してみると、
インナーマッスルを使って骨盤を前傾させる効果を体感できました。

リハビリ do 脳梗塞リハビリステーション町田
有限会社精美堂
理学療法士 齊藤 次男 様

導入の経緯は？

自分自身で骨盤アライメントの変化という効果を体感できたので、ご利用者様にも良い姿勢を体感して頂けると思ったのがきっかけです。中枢性疾患の方にとっては適正な感覚入力がとても大切になります。トランクソリューションを使用することによって適正な感覚入力を受容しながら動作・運動を行うことができます。その結果として歩行能力や上肢機能の改善に繋がることを期待してリハビリプログラムに取り入れています。

導入の効果は？

麻痺中等度、杖歩行、麻痺側には装具を使用している方に使用しました。麻痺側の下肢の振り出しがスムーズに行かず、骨盤を後傾しながらの振り出し動作となっていました。トランクソリューションを装着後、骨盤前傾位での股関節伸展感覚を体感頂けた結果、麻痺側の振り出しがスムーズになりました。また、胸椎の伸展位保持及び頭部の適正なアライメントも体感して頂けました。その結果、トランクソリューション装着時には7m歩行のタイムが2秒向上しました。

●主な導入施設

●医療法人社団 輝生会 初台リハビリテーション病院(東京都) ●東京都リハビリテーション病院(東京都) ●東京都健康長寿医療センター(東京都) ●東京都保健医療公社荏原病院(東京都) ●東京都立広尾病院(東京都) ●東京都立墨東病院(東京都) ●東京都立小児総合医療センター(東京都) ●東京都立多摩総合医療センター(東京都) ●平成横浜病院(神奈川県) ●からだラボ鍼灸整骨院(徳島県) ●日総ニフティ(神奈川県) すいとびー新横浜/すいとびー金沢八景/すいとびー東戸塚 ●東住吉リハビリセンター(大阪府) ●社会福祉法人 真寿会リハビリセンターあゆみ(滋賀県) ●リハビリdo 脳梗塞リハビリステーション町田(東京都)

LABORDO LXS ラボード LXS

- 耐久性とメンテナンスに優れた日本製の信頼感。
- 設置場所の自由度が高い小型コンパクト設計。
- 小型低床設計で免荷装置の併用が可能。



株式会社 日本メディックス
歩行訓練用体重免荷装置
SY-4300



静粛性に優れ、
0.2km/hから0.1km/h
刻みの超低速で
速度調節が可能のため、
歩行リハビリに最適です。

操作パネルは
日本語表記で大きく
見やすく、直感的な操作が
考慮され高齢者でも容易に
使用できます。

歩行面が低く
脚力の無い方、
小柄な方でも簡単に
乗り降りすることが
できます。



セノーはミズノグループの一員です。

事例 1



転倒のリスクを感じることもない安全なところが良いです。

東金町はんだ接骨院
院長 砂金 秀之 様

導入して良かった点は？

普段から利用者様の転倒を心配している為、ほとんどの方に手摺に掴まさせていただくようにしています。そうすると、自力での歩行が心配な患者様でも掴まった状態なら20分ほどでも歩くことが可能ですね。また、0.2km/hまで速度が下げられるのも良い点ですね。0.2km/hをずっと使うことはないのですが、脳梗塞で片麻痺の多少残る患者様に対しても安心して利用していただけました。

どういった使い方をしていますか？

当院では主に四つのパターンで使用しています。一つ目は変形性膝関節症の患者様に対してですね。O脚ではない歩き方や、痛くない歩き方に矯正する運動療法を行う為に使用しています。二つ目は脊柱管狭窄症で間欠性跛行をされている患者様

に対してですね。間欠性跛行をされている方は、自力で外を歩くことは困難なことに加え、補助器を使用して外で歩くことを気にされる方がいらっしゃるの、当院にお越しいただいて10～20分間歩く、という形で利用しています。そして、三つ目がいわゆるスポーツジムのウォーキングマシンと同様の使い方で歩かせていただいています。四つ目はランナーズニーなどで走ると痛いという患者様に実際にLXSで走っていただき、痛みの程度と回復の程度を評価するのもにも利用しています。特に一つ目と二つ目のパターンに関しては、当院で組んだプログラムを行う為にLXSを利用しています。速度に関しては、変形性膝関節症の患者様は2km/hから開始していただき、慣れてきたら3.3km/h程の速度でご利用していただいています。脂肪燃焼を目的としている患者様は4.5km/h程ですね。ですので、総じて4km/h未満でご利用していただいています。

事例 2



安定した低速歩行で歩行機能の改善に効果があります。

フィットネススクール ロコモK.O 長府店
店長 藤達也 様 / トレーナー 須田宏 様

導入して良かった点は？

当ラボード LXS は 0.2km/h からの低速で使えるのは非常に役立っています。一人でちゃんと歩けない方に対し、有人店舗で低速での歩行動作を指導した後、無人店舗で継続していただけたことで「本当に悪かったの？」と思うくらい改善されたこともありました。速くなるとできないような動きの確認、指導、実践が低速機能のために行いやすいです。

事例 3



操作がシンプルで相変わらず使いやすく、わかりやすい。ボディリペアIIと合わせて下肢系なので人気があります。

医療社団法人 恵正会
にのみやシニア・フィットネス
所長 松村 さゆり 様



事例 4



免荷装置とトレッドミルを併用することで介護度を下げる取り組みができるのが良い点です。

リハビリデイサービスわたぼうし
理学療法士 大島 豊 様

免荷装置とトレッドミルを導入した経緯は？

リハビリ機器を選定するにあたって、介護度の高い方も受け入れることを踏まえ、免荷装置とトレッドミルを導入することにしました。その結果、車椅子をご利用になっている介護度の高い方でもリハビリが可能になりました。

導入して良かった点は？

免荷装置ですが、早期に装置を使い、起立することで、低血圧を抑制できることです。また、免荷した状態で歩行が出来るようになると、トレッドミルを使った歩行訓練が可能になることも良い点です。

ラボードLXSは、最低時速0.2km/hから始まり、0.1km/h刻みで調整ができます。そのため、リハビリの中で、PTが刻一刻と変化する利用者の状態を診ながら、細かくスピードのコントロールが出来るので使いやすいです。

また、免荷装置とトレッドミルの併用により、介護度を下げる取り組みができることも良い点です。血液疾患、リュウマチやパーキンソン病の方は体重が掛かり過ぎたり、負荷が強過ぎたりすると、逆に状態が悪くなったりするので、その際には免荷出来たり、負荷をコントロールできるので効果を出しやすい要因となっています。

CORDLESS BIKE コードレスバイク

- 耐久性に優れ、コードレスで設置場所を選ばない。
- 高精度のイヤースンサーで正確な脈拍管理を行える。

最低負荷が10wと軽く
低体力ユーザーでも
無理なくトレーニングを
行えます。(最大250w)

定脈拍数プログラム
によって高齢者でも無理なく
リハビリトレーニングが
可能です。

リカンベントタイプは
足元が大きく空いた
ウォークスルータイプ
のため、簡単に乗り降り
することができます。



セノーはミズノグループの一員です。

事例 1



運動療法を通じて患者様の痛み改善が図れるようにサポートしていきたい。

清泉クリニック整形外科 理学診療部 部長
藤本大介様

機器の選定基準は？

正確で信頼性がある脈拍を手軽にとれるため、定脈拍数プログラムを運動処方に取り入れることができることです。

来院する患者様、治療について

高齢者の方は身体に抱える痛みを解消したいという目的で来院する方が大半なので、運動療法や手技で痛みの軽減・解消をしていけるように患者さん個々にプログラムを組んでいます。近年では、運動による疼痛抑制であるExercise

induced hypoalgesia(EIH)の報告が多くなされています。そのため、当院では運動療法は痛みの再発予防だけでなく、患者さんの痛みそのものを改善する治療として行っています。シニアの患者さんへはまず筋力テストを行っていただき、自分の体重を支えられない程の筋力だった場合は、自重を利用したトレーニングはせずに、自重が負荷としてかからないバイクやニューステップを利用して全身的な持久力・体力を向上させていくトレーニングを行っています。また、猫背の方で筋肉が硬くなってしまっていて、血流が悪い状態になっている場合は、全身の血流を改善する目的でバイクやニューステップを使った有酸素運動プログラムを取り入れています。



コンパクトで使い方も簡単な為、ありがたい。

フィットネススクール ロコモK.O 長府店
店長 藤達也様
トレーナー 須田宏様

導入してよかった点は？

脂肪燃焼の有酸素ゾーンがわかりやすいです。他のバイクだとただしんどい運動をして汗を流してやった気になる、ということも少なくないですが「定脈拍数プログラムを用いたトレーニング」を行えば効果的な有酸素運動が可能になる為です。V77iの体力測定機能も使えば有酸素⇔無酸素の範囲も数値で確認できるのでお良いですね。

Supreme Vision L スープリュームビジョンL

- 見る力を鍛えることで**日常生活の向上**に。
- 「認知」「判断」「動作」を養う**目と手の協調性トレーニング**。
- 利用者同士ゲーム感覚で**自発的リハビリ**ができる。



周辺視野・瞬間視野・
動体視力などを目と手の
協調性トレーニングで
養うことができます。

ボードの高さが調節可能で
車椅子の方も使用できます。

プログラムと
パターンを選び、
『スタート』するだけで、
簡単にトレーニングが
開始できます。



セノーはミズノグループの一員です。

事例



職員が付きっ切りで見なくても使える。
シンプル・簡単な機能のため、
ご利用様が自由に使っていただけるのは良いと思います。

医療社団法人 恵正会 中岡内科デイケアそよかぜ
所長代理 戸松 洋輔 様

導入の経緯は？

結果が数字として表示されるので、モニタリングしやすい点が決め手でした。業界として、これからは「何をしたか」ではなく「何ができるようになったか」というアウトプットが求められる時代になります。そのうえで、こちらが数値化(評価)する必要なく結果が出るというのはありがたいと感じました。

スタッフとしてみたスープリュームビジョンの感想をお聞かせください。

ゲーム性が高く簡単に使っていただけるのは非常に良い点だと思います。朝来たら2、3回やるのが習慣になっている方もいらっしゃいます。(スタッフも含めて)。
また、施設見学にきたお客様にも強いインパクトを与えるので、新規顧客の獲得に貢献してくれています。一度使っていただくとほとんどの方が喜ばれますし、効果の説明もするととても納得していただいだけ、そこから通っていただけることになることが増えました。

ご利用様のお声はありますか？

女性の方は周りに「あんたもやってみんさい!」と声を掛け合いながら、ワイワイ使われることが多いです。男性は逆にお一人でされる方が多いですね。
腕が遠くまで伸ばせない方でも、ボタンの点灯範囲を狭くしてあげると「これならできる!」と喜んでお使いいただいています。とにかく今は、楽しみながら使っていただいています。

スープリュームビジョンでのトレーニングを行うことで日常生活に変化があったというお声はありますか？

1日に行う様々なプログラムの1つとして運用しているので、明確に「この器具のおかげでできることが増えた」と判断するのは、正直なところ難しいですが、私たちがこの器具を最も評価している点は「結果の数値化」なので、「測定器具」として使っていく意識が強いですね。

今後の運用についてどうお考えですか？

今は1つのプログラムでしか利用はしておらず、遊び感覚で運用していますが、今後は正式なモニタリングを始めていこうと検討しています。また流れていく数字を暗記するプログラムなど、他の機能も活用していく予定です。



●主な導入施設

●医療法人城南ヘルスケアグループ熊本南部広域病院(熊本県) ●浦島メディカルクリニック(静岡県) ●医療社団法人 恵正会 中岡内科デイケアそよかぜ(広島県)
その他全国の病院、クリニック、各種スポーツクラブ、公共施設でご採用、ご愛顧をいただいております。



セノーはミズノグループの一員です。

セノー株式会社

〒270-2214 千葉県松戸市松飛台250番地
電話(047)385-9110 FAX(047)385-9177

